

福井市空き家情報バンク魅力向上プロジェクト

事業責任者： 菊地 吉信（工学研究科建築建設工学講座・准教授）

代表学生： 水野 峻輔（工学研究科安全社会基盤工学専攻・博士前期課程1年）

概 要
本事業は、福井市における空き家の利用拡大に貢献するため、福井市空き家情報バンク掲載物件について学生の提案力を生かした魅力的な利用提案に取り組んだ。福井市では平成19年度から空き家情報バンクを運営している。本事業を通じて、学生の柔軟で新しい発想により空き家情報バンクの利用拡大策や登録物件の魅力効果を効果的にPRする情報発信の方法を提案する。実施期間中に3件の空き家を対象とした実測調査ならびに利用イメージ図等の作成を学生主体により行い、成果は福井市空き家情報バンクのサブサイトとして一般公開された。
関連キーワード
空き家、空き家情報バンク、福井市、住環境

事業の背景および目的

本事業は福井市における空き家の利用拡大に貢献するため、空き家情報バンク掲載物件について学生の提案力を生かした魅力的な情報発信を行うことを目的とする。

福井市では、民間市場に流通していない空き家が管理不全な状態になる前に流通につながるよう、平成19年度から空き家情報バンクを運営している。しかし、空き家所有者の認知度は低く、また売却や賃貸には消極的な所有者も多い。そのため、空き家の所有者と利用希望者の双方にとって、利用したいと思える空き家情報バンクに改善することが課題となっている。

そこで本事業では、学生の柔軟で新しい発想により、空き家情報バンクの利用拡大策や登録物件の魅力効果を効果的にPRする情報発信の方法を提案する。

事業の内容および成果

福井市住宅政策課と連携し、同市空き家情報バンク掲載物件の中から所有者および管理者の同意が得られた3物件を対象として、実測調査ならびに利用イメージ図等の作成を学生主体で行った。

主な成果として、参加学生にとっては実践的な課題に取り組むことにより高い教育効果が得られるとともに、地域課題に対する理解を深めることができた。また、空き家問題に対する社会的関心は高く、その解決に向けて本学学生の取り組みが一定の貢献を果たすことができたと考えている。



実測調査の様子



福井市空き家情報バンクサブサイトと利用イメージ図の例

参考文献・添付資料および特記事項等

福井大学建築学生コラボ 福井市空き家情報バンク魅力向上プロジェクト（福井市空き家情報バンクサブサイト）：<https://www.city.fukui.lg.jp/kurasi/jutaku/akiyataisaku/bankmiryoku.html>

